

日本初開催の WORLD JUMP ROPE CHAMPIONSHIPS 2025 大会直前セレモニーを開催しました！

日本初開催となるジャンプロープ競技の世界選手権大会「WORLD JUMP ROPE CHAMPIONSHIPS 2025」（令和7年7月27日～）の川崎での開催に先立ち、国際ジャンプロープ連合などの大会関係者と川崎市にゆかりのある日本代表選手（7名）が一堂に会した大会直前セレモニーを令和7年7月25日（金）に川崎市役所本庁舎で開催しました。

大会関係者による大会概要の説明ののち、出場選手に大会への意気込みを語っていただくとともに、ジャンプロープの迫力のあるパフォーマンスで会場を盛り上げていただきました。



1 大会直前セレモニー概要

(1) 日 時 令和7年7月25日（金）11時30分～12時00分

(2) 場 所 川崎市役所本庁舎 2階ホール（川崎市川崎区宮本町1番地）

(3) 当日参加者

・川崎市長

・大会関係者：国際ジャンプロープ連合会長 ショオン・ハミルトン氏、国際ジャンプロープ連合 事務局長 ジャネット・ロック氏、一般社団法人日本ジャンプロープ連合 理事・事務局長 原竹 純 氏

・川崎市ゆかりの選手 7名 ※括弧書きはチーム名

稲葉 海哉 選手、李 大希選手、市川 快 選手（FORTH）、柴田 恵理 選手（FORTH）、

白井 冬馬 選手（FORTH）、杉本 春樹 選手（FORTH）、工藤 美怜 選手（FORTH）

2 主なコメント

○福田紀彦 川崎市長

まずは、今大会開催に向け準備に尽力下さった関係者の皆様に感謝申し上げます。川崎市は、アーバンスポーツ等の若者文化が盛んな地域で、市としてもダブルダッチ等のジャンプロープを応援してきました。そうした中、いよいよジャンプロープの世界大会が、川崎市で始まることを嬉しく、大変誇りに思っています。

○国際ジャンプロープ連合 ショオン・ハミルトン 会長

今大会を開催できることに心より感謝申し上げます。今大会では、34の国と地域から2,600名を超える参加者がいます。アスリートや主催者で力をあわせてジャンプロープの力を世界に示しましょう。今大会を通じて、ジャンプロープのオリンピック競技採用という目標に近づきたいです。

○稲葉 海哉 選手

今回は、日本開催ということでとても気持ちが高まっています。今大会は30秒かけ足跳び（スピード）とダブルダッチフリースタイルの二種目に出場します。ダブルダッチフリースタイルは九年ぶりの出場ですが、30秒かけ足跳びは長年大会に出続けており、選手としてはベテランの域に達していることもあり、一位を目指して頑張りたいです。

○市川 快 選手（FORTH）

いよいよやっとこの日が来たという感じです。三年前から仲間たちと練習や準備を重ねてきました。若者文化を応援してくれる川崎市の協力がなければ、今回の世界大会の開催はなかったと思います。ロープを通して人が繋がる、素晴らしい競技がジャンプロープです。今大会を通じて、素敵な一週間にしたいと思います。

3 当日の写真



国際ジャンプロープ連合 ショオン会長の主催者挨拶



大会への意気込みを語る稲葉選手



大会への意気込みを語る市川選手



大会を前に選手7名によるシングルロープやダブルダッチのパフォーマンスで会場は盛り上がりました。

川崎市市民文化局スポーツ室 石床
電話 044-200-2347

①稲葉 海哉（イナバ カイヤ）選手



高津区在住。昨年川崎にて行われたAJRU（アジア選手権）では所属チームのマイケルの一員として総合優勝という快挙を成し遂げた。ロープスキッピング全日本選手権では6連覇を達成し2021年のオンラインでのジャンプロープの世界大会でも総合優勝を果たすなど今大会でも注目選手。

（出場種目）

・個人戦…
シングルロープ個人30秒スピード
・団体戦…
ダブルダッチペアフリースタイル

②李 大希（リ ダイキ）選手



昨年のアジア選手権では男子団体総合で金メダルを獲得。競技者として活動すると同時に、指導も行っており、カワサキ文化会館でも自身の練習や指導を行っている。現在は、ジャンプロープを普及するために日本国内だけではなく、国外でも様々な活動を行っている。

（出場種目）

ダブルダッチスピードスプリント
ダブルダッチスピードリレー
ダブルダッチシングルフリースタイル
ダブルダッチペアフリースタイル

※市在住選手は①のみ、
②～⑧は、カワサキ文化
会館で個人やチーム練習
を実施、④⑤は同会館の
スクールで子供達に指導
を実施している。

③チーム名 FORTH（フォース）



FORTHは、DOUBLE DUTCH CONTEST WORLDで2017年から3連覇を果たした伝説のプロダブルダッチチームREG☆STYLE（レグスタイル）のメンバーのKAI（市川快選手）が率いるチームで、メンバーは市川選手のほか、柴田恵理選手、白井冬馬選手、杉本春樹選手、工藤美怜選手の5人。カワサキ文化会館でチーム練習を行っており、市川選手と柴田選手は、同会館のスクールで子どもたちにジャンプロープを教えている。

（出場種目）

ダブルダッチスピードスプリント
ダブルダッチスピードリレー
ダブルダッチシングルフリースタイル
ダブルダッチペアフリースタイル

④市川 快（イチカワ カイ）選手



プロダブルダッチチームREG☆STYLEのメンバー。昨年川崎にて行われたDOUBLE DUTCH CONTEST WORLD（世界大会）優勝、AJRU（アジア選手権）にて金メダル2個、銀メダル2個を獲得する快挙を成し遂げた。カワサキ文化会館のスクールや市内小学校での体験会でも子どもたちにジャンプロープの楽しさを教えている。

（出場種目）

ダブルダッチスピードスプリント
ダブルダッチスピードリレー
ダブルダッチシングルフリースタイル
ダブルダッチペアフリースタイル

⑤柴田 恵理（シバタ エリ）選手



昨年川崎にて行われたAJRU（アジア選手権）にて金メダル2個、銀メダル2個を獲得する快挙を成し遂げた。競技者としては、2021年にコロナ渦のためオンラインで開催されたIJRU Virtual World Championshipsでダブルダッチシングルフリースタイルでの優勝等の戦績を残している。現在はカワサキ文化会館のスクールで教える等、ジャンプロープの普及活動にも力を入れている。

（出場種目）

ダブルダッチスピードスプリント
ダブルダッチスピードリレー
ダブルダッチシングルフリースタイル
ダブルダッチペアフリースタイル

⑥白井 冬馬（シライトウマ）選手



DOUBLE DUTCH CONTEST WORLD 2021、小学生からジャンプロープを始め、競技者として2022年アメリカで開催されたIJRUも選手として参加。川崎ルフロンにて月一回定期公演を行い、ダブルダッチの普及にも努めている。

（出場種目）

ダブルダッチスピードスプリント
ダブルダッチスピードリレー
ダブルダッチシングルフリースタイル
ダブルダッチペアフリースタイル

⑦杉本 春樹（スギモト ハルキ）選手

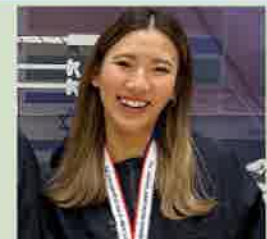


小学生からジャンプロープを始め、競技者としては2021年にコロナ渦のためオンラインで開催されたIJRU Virtual World Championshipsでシングルロープスピードリレーで準優勝等の戦績を残している。プレイヤーとして学生シーンの最前線で活躍中。

（出場種目）

ダブルダッチペアフリースタイル

⑧工藤 美怜（クドウ ミレイ）選手



小学生からダブルダッチを始め、キッズ時代から数々の世界大会で優勝という成績を収めてきた。昨年行われたAJRUアジア選手権ではスピードリレーにて準優勝。

プレイヤーとして学生シーンの最前線で活躍中。

（出場種目）

ダブルダッチスピードリレー

1. 国際ジャンプロープ連合、（一社）日本ジャンプロープ連合について

国際ジャンプロープ連合（IJRU）は、世界のジャンプロープ（なわとび・ダブルダッチ）競技を統括する国際団体です。世界におけるジャンプロープの普及と発展に力を入れています。一般社団法人日本ジャンプロープ連合（JJRU）は、IJRUに加盟する国内唯一のジャンプロープ・スポーツ統括団体で、国際大会への日本代表選考や、国内予選の開催等を実施しています。

2. 「WORLD JUMP ROPE CHAMPIONSHIPS 2025」について

日本で初めての開催となるジャンプロープ（縄跳び競技）のワールドチャンピオンを決める「WORLD JUMP ROPE CHAMPIONSHIPS 2025」が、令和7年7月27日（日）から8月3日（日）までカルッツかわさき（川崎区）で開催。この期間中、世界各国の予選を勝ち抜いてきた30以上の国と地域から約2,600名を超える選手達が川崎に集結し、スピード感あふれる競技部門や、音楽に合わせたダイナミックでアクロバティックな技で、観客を魅了するダブルダッチのコンテスト部門など、世界最高峰の技術を持った選手達による熱い戦いが川崎の地で繰り広げられます。

【大会の日程】

7月27日（日）	IOTスピード&スリースタイル
7月28日（月）	IOTスピード&スリースタイル 開会式
7月29日（火）	WCチームスピード WCチームフリースタイル
7月30日（水）	WCチームフリースタイル WCスピード&フリースタイル
7月31日（木）	WCスピード JWCスピード&フリースタイル
8月1日（金）	JWCチームスピード&チームフリースタイル チームショー
8月2日（土）	JWC・DDC/WC・DDC 決勝戦&DDC
8月3日（日）	決勝戦&DDC

【選手の出場種目と日程】

選手	種目	予選日程	決勝日程
稲葉 海哉	シングルロープ個人30秒スピード	7月31日（木）	8月2日（土）
	ダブルダッチベアフリースタイル	7月30日（水）	8月2日（土）
李 大希	ダブルダッチスピードスプリント	7月29日（火）	8月3日（日）
	ダブルダッチスピードリレー	7月29日（火）	8月2日（土）
	ダブルダッチシングルフリースタイル	7月30日（水）	8月2日（土）
	ダブルダッチベアフリースタイル	7月30日（水）	8月2日（土）
FORTH（5名）	ダブルダッチスピードスプリント	7月29日（火）	8月3日（日）
	ダブルダッチスピードリレー	7月29日（火）	8月2日（土）
	ダブルダッチシングルフリースタイル	7月30日（水）	8月3日（日）
	ダブルダッチベアフリースタイル	7月30日（水）	8月2日（土）

※IOT：インターナショナル オープン トーナメント（本大会の出場権を持たない選手が試技を披露）

※WC：シニア部門

※JWC：ジュニア部門

※DDC：ダブルダッチコンテスト（音楽に合わせて跳びながらダンスや技を披露）

（参考）これまでの開催状況について

国際ジャンプロープ連合（IJRU）の初の世界選手権が、2020年に開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で2021年にオンライン開催となりました。第2回大会は2023年にアメリカ合衆国コロラド州コロラドスプリングスで初めて現地開催されました。そして、今年2025年に、第3回大会を日本の川崎市で開催されることになりました。

3. 市内における関連イベント・ミールクーポンについて

○大会告知イベント『Jump Rope Challenge』の開催（JJRU、JR東海、川崎市共催、IJRU協力）

大会直前の7月26日（土）15時～19時30分にラゾーナ川崎プラザ・ルーファ広場で大会告知イベントを開催。ジャンプロープのチャレンジ企画や、ダブルダッチ等の無料体験会、世界大会出場選手等によるパフォーマンス等、ジャンプロープの魅力を体感できる企画を多数実施

○機運醸成に向けた小学校等でのダブルダッチ体験教室を開催

市内小学校等に、ダブルダッチの講師を派遣する体験教室を令和5年9月から開始し、本年5月末時点で計34か所、約3,800名の児童が参加。大会以降も令和8年3月まで実施予定

○大会で来日する選手達に川崎の食を楽しんでもらうため飲食事業者等と連携しミールクーポンを配布

大会参加者が、川崎駅近くの商店街やショッピングモール等で利用できる食事券（500円券）を約10万枚発行し、川崎の食を楽しんでもらう取組。駅周辺商業施設・商店街等の約370店舗が参加